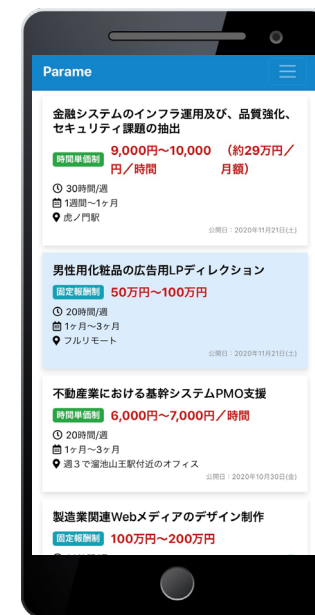




オンライン完結「リファレンスチェック」のパラミー



回答者へのお礼メッセージガイド

【お礼メッセージ構成】

1. 挨拶・自己紹介

リファレンスチェックでは回答者に企業名等の情報は一切伝わっていません。誰か分からない相手からのメッセージは、回答者に不信感を与えてしまいます。可能な限り、企業名+担当名を開示して挨拶するようにしましょう。

2. 具体的なお礼

回答結果の中で参考になった内容を挙げながら、お礼を伝えましょう。結果がどう受け取られたか不安に思っている回答者も多いので、ネガティブ面よりポジティブ面で候補者の理解が深まったことを伝える方が望ましいです。

3-A. 追加ヒアリング

もし回答結果で気になる点があった場合は、追加でヒアリングしてみましょう。ただしネガティブ面の深掘り・追加質問については回答者も警戒してしまうので、判断や評価に影響しないことを伝えると率直な意見を語ってくれやすくなります。

3-B. 将来的なお誘い

もし回答者も採用検討したい場合、接点を作りたい意図を伝えてみましょう。ただし候補者の選考があった手前、直接的・直近の誘いは避けた方が無難です。「一段落した後、改めてお礼がしたい」等の控えめなお誘いに留めましょう。

【お礼メッセージの注意点】

1 回答者の意向も踏まえて、メッセージ送信の是非を判断する。

回答者の中にはリファレンスチェックに対して嫌悪感を抱く方が少なからずいます。「追加メッセージを受け取りたくない」と意思表示している方や、回答内容から候補者との信頼関係が窺えないような方に対しては、メッセージを控えることを推奨します

2 候補者の選考状況・入社有無など、情報共有には細心の注意を払う。

候補者が回答者に選考状況を共有していない、転職意思を表明していない等のケースも十分考えられます。余計なトラブルに繋がる可能性があるため、候補者の状況を確認し、可能であれば共有内容の許諾も取りながらメッセージすることを推奨します。

3 回答者への直接的なスカウト行為は控える。

回答者は、候補者の支援目的（善意）でリファレンスチェックに回答してくれています。自身の転職目的でサービスに登録しているわけではありませんので、直接的なスカウト行為、行き過ぎたメッセージは避けましょう。

【お礼メッセージ例】追加ヒアリングの場合

〇〇さん初めまして、△△△△株式会社の◇◇です。

〇〇さんのご回答内容とても参考になり、今回★★さんへ内定を出す意思決定をすることができました！ご協力ありがとうございました。

一点、これから一緒に働く上で気になったのですが、「些細なミス・見逃しがある」というのは、（マネージャーなどが）少しは注意してレビューなど行っていくのが良さそうですかね...？

★★さんととても丁寧そうという印象だったので、少し意外だなと思った次第です。（これで★★さんへの評価が下がるなどは一切なく、アドバイスとしてどれくらい注意したら良いか参考にさせて頂けたらありがたいです！）

◇◇さん初めまして！★★さんから今回この依頼を受けて「こんな感じでいいのかな...？」と不安もあったのですが、お役に立ったようで安心致しました！

★★さんから業務を引き継ぐようなことが過去多々あったのですが、本来ならミスしないようなところが抜けていることもありました。仕事で落ち込むことがあった時、業務が重なって余裕がなくなった時などはミスをしてしまうのかなと感じます。

業務量が★★さんのキャパを超えていないか、仕事に集中できない環境で無理に仕事をしていないかなどを気にかけて頂ければ良いかと思えます！

その他、気になることあればご連絡下さい。よろしく申し上げます。

【お礼メッセージ例】 将来的なお誘いの場合

〇〇さんこんにちは、株式会社△△△△の◇◇です。
★★さんへのリファレンスチェックありがとうございました！

★★さんが事業企画として高い実績を残していたこと、人物像としても凄く誠実な方であること、とても参考になります！また〇〇さんと★★さんとの間で厚い信頼関係が築かれていたことがヒシヒシと伝わる回答内容で、率直に感動しました...！

お忙しいところご協力いただきまして本当にありがとうございました。

★★さんが入社されて落ち着いた後など、ぜひ〇〇さんに改めてお礼がしたいので宜しければご飯でも行きましょう！！

今後ともよろしくお願ひします！

◇◇さん、ご丁寧にありますありがとうございます。
★★さんのことがちゃんと伝わっているようで良かったです。

★★さんにはこれまで大変お世話になったので、貴社に入社されてからも何かご協力できることあればご連絡いただければと思います。

今後とも宜しくお願ひいたします。